

除草剤  
クロルフタリム水和剤

# ダイヤモンド<sup>®</sup>水和剤

農林水産省登録 第14638号

性状：類白色水和性粉末 45 μm以下

毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称）

危険物：非該当

有効年限：4年

包装：500g × 20（販売終了）

有効成分：クロルフタリム（化管法第2種）・・・50.0%

除草剤分類 14

ダイヤモンド<sup>®</sup>は日本農薬（株）の登録商標です。

## 特長

- スズメノカタビラ、メヒシバ、カヤツリグサ等の一年生雑草に高い効果を示します。
- 残効性に優れた、抑草期間の長い土壌処理型除草剤です。
- 土壌中の移行性が小さく、土壌表層に薬剤処理層を作るので、発芽後幼芽部が接触し褐変枯死します。

## 適用雑草名及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用薬量	10アール 当り 希釈水量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルフタリムを 含む農薬の 総使用回数
日本芝 (こうらいしば)	一年生雑草	春季雑草発生前	400～ 600g	300ℓ	2回以内	全面土壌散布	2回以内
		秋季雑草発生前	600g				
西洋芝 (ベントグラス)	コケ類	秋冬期芝生育期 (コケ類生育期)	200～ 600g	200～ 300ℓ	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
すぎ (床替床)	一年生雑草	雑草発生前	400～ 600g	150ℓ	2回以内	全面土壌散布	2回以内
ひのき (床替床)	一年生雑草	雑草発生前	400～ 600g	150ℓ	2回以内	全面土壌散布	2回以内
あかまつ (床替床)	一年生雑草	雑草発生前	400～ 600g	150ℓ	2回以内	全面土壌散布	2回以内
くろまつ (床替床)	一年生雑草	雑草発生前	400～ 600g	150ℓ	2回以内	全面土壌散布	2回以内
からまつ (床替床)	一年生雑草	雑草発生前	400～ 600g	150ℓ	2回以内	全面土壌散布	2回以内
つつじ類	一年生雑草	雑草発生前	400～ 600g	100ℓ	1回	畦間土壌散布	1回
たばこ (折衷マルチ栽培)	一年生雑草	畦立直後但し 植付10日前まで	200g	100～ 200ℓ	1回	畦面土壌散布	1回
		前年秋期施肥畦立時					
きく	一年生雑草	定植前 (雑草発生前)	400～ 800g	100ℓ	1回	全面土壌散布	1回

#### 使用上の注意事項

- アルカリ性薬剤との混用はさけてください。
- 散布液調製後は、そのまま放置せずできるだけ速やかに散布してください。
- 本剤は雑草発生前の処理の効果は大きいですが、既発生の雑草には効果が劣るので、雑草発生前に全面にむらなく散布してください。
- イネ科雑草に比べ、キク科などの広葉雑草に対しては、効果がやや劣るので、広葉雑草の優占する所では所定範囲の多めの薬量で使用してください。
- 散布液量が少ないと効果が不均一になる場合もあるので、所定の散布薬量に希釈して使用してください。
- 芝生中及び周辺の植物にかかると薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
- 芝に使用する場合、葉先褐変等の薬害を生じることがありますが、やがて回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。但し、高温時には薬害が出やすくなるので注意してください。
- ターフ形成前の芝生には使用をさけてください。
- たばこに使用する場合、植付時、処理土壌がたばこの茎葉に接触しないように注意してください。
- たばこのトンネル栽培、改良畦面栽培では使用しないでください。
- 薬液調製容器や散布器具は使用后十分水洗いしてください。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

#### 安全使用上の注意事項

- 散布の際は、マスク、手袋などをして散布液を吸い込んだり、浴びたりしないように注意し、作業後は顔、手足など皮膚の露出部を石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。

#### 水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

#### 保管に関する注意事項

- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。